

令和元年5月27日

日本原子力発電株式会社
東海・東海第二発電所長 殿

東海・大洗原子力規制事務所
統括原子力運転検査官 橋野 早博

安全文化・組織風土劣化防止に係る取組の総合評価について

平成30年4月1日から平成31年3月31日に行われた、東海・東海第二発電所における安全文化醸成活動については、以下のとおり評価しましたので通知します。

記

【総合所見】

安全文化・組織風土の醸成に係る取組状況については、平成30年度の計画に掲げた取組は、前年度の検査官からの改善要請事項も含め全て実施され、改善に向けた取組が継続されているが、「常に問いかける姿勢」及び「事故・故障等の未然防止に取り組む組織」の要素において課題が見られることから「取組は行われているが、改善が見られない。」と評価する。

また、安全文化・組織風土の劣化兆候に係る評価の視点については、平成30年12月に屋内開閉所で重大な感電災害が発生しており、事業者が掲げる「労働災害発生件数」という指標については課題があり、「特定の安全文化要素について劣化兆候が見られる。」と評価する。

以上